

練馬図書館利用者懇談会 要録

【概要】

- 1 日時 令和6年11月1日（金） 14時～15時
- 2 場所 練馬図書館 会議室
- 3 出席者 利用者 4名
図書館 5名（練馬図書館長、副館長、職員、主任図書館専門員2名）
生涯学習センター 1名（所長）
- 4 テーマ 「図書館の魅力」
- 5 配布資料
(1) 練馬区教育要覧（令和6年版抜粋）
(2) これからの図書館構想（一部抜粋）

【要録】

1 練馬図書館長挨拶

2 職員紹介

3 参加者自己紹介

4 懇談

図書館 令和4年11月に、10年先を見据えたこれからの図書館構想を策定し、昨年度から構想に沿って事業を進めているところです。

昨年の懇談会テーマは「つながる図書館」でした。練馬図書館として、どのような機関、どのような人たちとつながっていったらいいかなどについて、構想の資料の3番目「交流が生まれ、新たな知が創造される」という項目とも絡めてご意見をいただきました。

近年多くなった外国から来られた方々に対する事業にはどんなものがあるかといったご発言もいただいたかと思います。先日、職員が「やさしい日本語」の研修を受講しました。日本語に慣れていない外国の方や、外国の方でなくてもコミュニケーションが難しい方に、どうやったら重要な情報を伝えられるかを工夫して考えられたとっても使いやすいツールです。受講した職員からは「敬語は理解しにくいなどの発見があった」等の感想がありました。これからますます外国の方も増えてこられると思います。私たちも準備をしつつ、また、つながりを持っていければと思っています。

また、昨年「つながる」の対象として高齢者施設というご意見をいただきました。今日は、はつらつセンターから職員の方がお見えになっています。図書館は、はつらつセンターと連携しており、先日ブックトークに行ったばかりです。定員となる15人が参加され、図書館から持っていった本はほとんど借りて

いただいた。非常に喜んでいただき、とてもいい事業になったと思います。

また、先日行われたはつらつセンターのイベント「敬老祭」で、「ねりまキッズボランティア」さんが行った「こどもえんにち」にも図書館職員が参加し、読み聞かせを行いました。

今年は、去年にも増していろいろな場所でいろいろなことをやっていかなければと心がけ、実際に参加させていただいています。ねりまキッズボランティアさんたちとは、先日も駅前の大鳥神社のイベントでも読み聞かせをしました。

さて、今回の懇談のテーマは「図書館の魅力」です。

図書館は、構想に基づいて取組を進めています。例えばデジタル対応のほか、いろんな人が使いやすい交流の場としての図書館として「おしゃべりタイム」という取組もあります。ふだん図書館は静かなところですが、しゃべってもいい時間や場所を設定できないか検討しています。

検討においては、現在図書館に来ている方の中には静かに読みたいという人もいる、その方たちが嫌だと思わないような工夫も必要という意見もありました。図書館は、図書館として守らなければいけないことがあると感じます。守らなくてはならない点は、図書館の魅力といえるかもしれません。

私たち図書館は、どんなことを守っていかなければいけないか、そんなこともぜひ皆様からご意見がいただければと思いこのようなテーマを設定しました。

ここまで、私から話をさせていただきましたが、いかがでしょうか。皆様のご意見を頂戴できればと思います。

利用者

私はあまり子どもサービスの方にはしていません。そういう立場から見ると、蔵書構成、例えば光が丘は（蔵書の）半分ぐらいは青少年のための本や児童書で占められている。（一般向けの）資料が非常に足りないのではないかという感じをずっと持っています。

今回、韓国のハン・ガン氏がノーベル文学賞を受賞しました。あの方の書籍は、多い作品でたった6冊（しか複本がない）。それで250名を超える予約が入っています。たまたまノーベル文学賞だから一過性ものという解釈をされるかもしれませんが、「世界とつながる」というのが（構想の）最初に入っているにしては、外国文学などの所蔵が足りないのではないかと常々感じております。

図書館の懇談会にしても、広報や開催日をもう少し検討課題にしていいただいたらいいのかなと。私は他の図書館の懇談会にもできるだけ出るようにしているのですが、他（の館）でも大体、図書館を非常に頻繁に利用するグループが参加している。日ごろ、資料が足りないとか、遅いとか、そういった一般の大人の読者の声が反映しにくいのかなと思っています。

○図書館

ありがとうございます。

資料に関して言いますと、練馬区の図書館は、現在、書架にほぼ隙間がな

く、どの図書館でも新しい本を入れるためには古い本を除かないといけない状況が続いています。

当館では、蔵書は全部合わせて16万点ぐらいで、新しい本が年間約8千点入ってくる。除籍も行い、入れ替えている状態です。資料点数の総量はどうしても増やせない。練馬区立図書館全体で言えば、共同書庫のような本を置く場所ができないかという検討は始まっているところです。

蔵書構成では、児童書は一般書の半分ぐらいの冊数です。青少年向け資料や、先ほどおっしゃられたノーベル賞受賞者作品など、皆さんが読みたいと思っている本を提供することは私たちの使命だと思いますので、これからも力を入れていくことになると思います。

○利用者 練馬区の人口構成は（蔵書に）反映していないですね。アンバランスです。需要と供給があまりにも離れているのかなという気がします。私が予約した本、CDやDVDは、3か月、6か月というのは当たり前待ちですね。

○図書館 予約多数により年単位で待っていただいている方もいらっしゃる、冊数を増やすなどで対応しています。予約で回っているうちは書架に戻らないので何冊あっても場所を取るということはありませんが、いずれ書架に戻る。そうすると、除籍するなどの対応をしていきます。

○利用者 今のご発言で、新刊や注目の本が何か月待ちと聞き、本当に練馬は読書家が多いのかなと思います。私が住んでいる中野区の図書館のホームページで（練馬区で大勢が）待っている本を探すと、結構すぐ読めた。中野区の人口は練馬の半分ぐらいですけども、蔵書数も少ないです。少ないのにすぐ来るんです。本当に練馬の人々はすごく読書に熱心なんじゃないかと思っています。

では、困っていることを。今日は11月1日で会議の場所取りの日です。私たちはいつも貫井図書館の会議室を利用しているのですが、全然取れなかったです。会議や、集会をしたりする場所が本当に少ないという困り事です。練馬図書館の会議室も一つしかなく、講演会をやるには小さいです。講演会の場所を取ろうと思うと練馬では無理なので、貫井や近隣を取ろうと思うと非常に大変。もうすぐ貫井も建て替えて使えなくなってしまうですし、そうすると一体私たちはどこで活動したらいいのかなと。貫井の後にこちらが改修になるのでしょうか。予定は決まっていますか。

○図書館 会議室は、練馬区の施設管理システムの更新に合わせて、図書館の会議室も加わることを検討しています。今までは、毎月1日に電話かけが必要でしたが、基本的には最初の受付期間の間に申し込んで、その後抽選が…。

○利用者 抽選ですね。それはうーんという感じです。抽選で漏れたら、もうその時点では他がないわけですね。貫井は（システムから）外れるのでしたっけ。

○図書館 貫井は改築になります。まだ詳細は決まっていないので、はっきりしたことは言えませんが、申込みはしやすくなるかと思うのです。

○利用者 申し込みはね。使えるかどうかは…。

私たちの団体は図書館協力団体で、使う3か月前に申し込める。一般の人た

ちは2か月前なので、優先していただいています、この仕組みが継続できるのか心配です。

○図書館 新しいシステムも、図書館協力団体の優先はそのまま引き継げるように検討しているところです。

○利用者 ぜひ、よろしくお願いします。

○図書館 練馬図書館としての会議室はここ（会場の会議室）しかありませんが、併設には生涯学習センターがあります。今日は生涯学習センター所長もいらっしやっています。生涯学習センターに様々な部屋があり、ホールで講演会をされたり、既にお使いになっているかと思います。一緒の建物の中に様々な用途に使える部屋を持つ生涯学習センターがあるので、図書館の部屋はこれしかないという造りです。

○利用者 普段の活動を有料施設でやると予算が厳しくなってしまうので、あまり生涯学習センターには行かないかなと。学習会とか特別なときでしたら別なんですけれど、抽選でもありますね。

○生涯学習センター所長 そうですね。公共施設予約システム上で抽選があります。また、使用料がかかります。

○図書館 開催内容にもよるかと思います。以前、図書館と共催という形で読書会を開催しましたが、この場合公用の扱いだったかと思います。

○利用者 それは練馬図書館が主催された会です。

○図書館 共催でした。

民間の団体が借りるとなると、規定により無料での使用は難しい。図書館と共催でできる事業があればご相談いただけたら、センターとも相談させていただきたいと思います。

○生涯学習センター所長 生涯学習団体の届出制度というものがあるのですが、届出を受けた生涯学習団体が学習目的のために利用する場合は、使用料が5割減額になります。

○利用者 空き部屋のお話でしたが、私の施設も部屋貸しはさせていただいています。60歳以上の方の団体にサークル活動という形でお貸ししているので、残念ながら有償になってしまうのですけれど。

先ほど、図書館は静かな場所ですが、話してもいい時間もあつたらいいのではないかというお話がありました。私もそういう時間はいいなと思いました。私のセンターでも読み聞かせをやっていきます。幾つになっても読んでもらうというのは嬉しい、楽しいのだなというのを肌で感じます。例えば親子でいらしたときにお母さんが子どもに読んであげるということも気軽にできる、でも、静かに読みたい人もいると思うので、そういった時間を部分的に少しだけ設けるなどをしてもいいのかなと思いました。

○図書館 ありがとうございます。

○図書館 生涯学習団体が無料になるのは75歳以上ですか。

- 生涯学習センター所長 生涯学習団体ということではなく、高齢者の団体が利用する場合に無料になります。
- 利用者 全員が75歳ですか。
- 生涯学習センター所長 構成員の半数以上を75歳以上の者が占める10人以上の団体が利用する場合です。
- 図書館 もし団体に10名いらして、75歳以上が半数以上であれば、減免対象となる団体登録ができるので、もしよろしければ。
また、図書館では、図書館に協力する団体は無料でお使いいただけます。
- 利用者 練馬は、図書館協力団体はこれ以上増やす可能性はないですか。
アメリカなんかですと、図書館での外国人への英語講座はどこでもあるんです。例えば、ボランティア講座を図書館でしますから協力団体として認めてもらいたいとしたら、可能性はあるのですか。
- 図書館 図書館の協力団体というものに過度の制限があるわけではありません。新しい団体を作りたいというお話があれば、ご相談ください。
- 利用者 協力団体として認めてくださいという申請を出すのですか。教材として子どもの本を使ったり、図書館の本があったら助かる。場所として提供していただける可能性があるといい。誰が団体として認めるのですか。
- 図書館 活動規約など見せていただいて、それが練馬区の図書館の活動に合致するものであるか確認することになると思います。詳細は図書館の会議室等利用に関する要綱（※正式名称は「練馬区立図書館視聴覚室・会議室利用要綱」）の中に条件の記載があります。区立図書館全部、同じ基準です。利用する施設にご相談ください。
- 利用者 利用者懇談会は、概して知られていないのです。
- 図書館 今回も図書館ホームページ、各館の掲示板などで1か月ぐらい前から告知していたかと思います。また、去年と同じく今年も各館の開催が重ならないよう調整しています。
- 利用者 ある館は、普段お付き合いがある人を招待していて、お礼の会みたいです。仲間内の話で終わってしまい、どういうふうにしてほしいかなど、新しいことや必要なことを訴える機会じゃないところが多い。せっかく時間を取っていただいて、もったいないなと思う。
- 図書館 各館で工夫していると聞いています。光が丘図書館はいつも最後に懇談会をやるのですが、去年は土日開催で、今回は平日開催とずらしています。
図書館には、日中に来られる方もいれば、土日だけ来られる方とか、様々な方がいらっしゃいます。普段はカウンターでご意見をいただいたりしていますが、懇談会の形では頻繁に開催できません。できるだけ多くの方の声を聞けるように工夫したいと思います。
- 利用者 近隣の出張されている施設などに招待状を出さないのですか。
- 図書館 ボランティアの方々にご案内はしているのですが、ご参加していただくことがなかなか難しい状況ではあります。

○生涯学習センター 図書館は役所の中では敷居が低く、無料で、いつでも誰でも来られる施設です。最近では、情報をインターネットで調べられる場合もありますが、図書館の強みは、人が実際に来る場所であるというところだと思います。図書館の目指す将来像にある「交流が生まれ」という部分は、デジタルでは難しい部分もあるのではないのでしょうか。

また、若い世代の方にご覧いただき利用していただくということは課題だと思います。先ほどあがった「おしゃべりタイム」という考えはすごくいいなと思いました。「交流」を考えた場合、会話がなければ交流もうまれにくいと思います。ただし、静かに本を読みたい方もいらっしゃるの、改修の際にハード面の整備ができるとよいですね。

○利用者 改築するときは、間取りを変えてはいけないと聞いたのですが。

○図書館 部屋の仕切りを新たにすることはできます。大規模改修については設計も進めていたのですが、お話しいただいたような空間を作れないかというような検討はしていました。

現在は、練馬図書館の大規模改修がいつになるかはまだ分からないのですが、改修の際には新しい考え方の導入も可能ではないかなと思いました。

○利用者 何か月か前に、神奈川県大和市の劇場と図書館が一緒になった建物に行きました。2階と3階が図書館で、3階の広大なフロアの全部が児童書なのでびっくりしました。書棚の奥に、ガラス張りで子どもが遊べる部屋、キッズルームがあって、その中で声もあげられる。

また、間仕切りがあって、調べものの本がある部屋の壁の向こうでは、さらに静かにすごせる部屋がありました。そういう工夫はできるのかなと。

○図書館 図書館がハードを更新する際には、検討課題として考えられると思っています。ただ、改修は頻繁にできることはありません。今は、おしゃべりタイムについては、時間を区切ってできないかなど、そんなことも検討しています。

また、先ほど中高生の利用のお話がありましたが、この近辺は高校とか大学が少ないという立地面の関係もあります。近隣の公立中学校とは連携しています。現在、中村中学校の生徒さんが作成した読書新聞を貼り出しており、それを見に生徒さんや、学校の先生、生徒さんに関係される方々も来館されています。あとは職業体験の受け入れもしています。中学校とは引き続き連携したいですね。

○利用者 読書会もやっていたらいいですね。図書館ならではの交流だと思います。

○図書館 今年は一般向けに、警察小説を題材に読書会を行いました。

○利用者 おしゃべりタイムとは違いますが、大人の方も本を中心に話し合えるような場所を作ろうということですね。

○利用者 ブックスタートは、この部屋でやっているのですか。

○図書館 この会議室で行っています。扉は締め切らず、後からでも入ってこられるよう少し扉を開けて実施しています。

- 利用者 その場合は、赤ちゃんの声が聞こえても苦情は出ないのですか。
- 図書館 外に看板を立て、赤ちゃん参加のイベント実施がわかるように行っていますので、苦情はあまりないです。
- 図書館 今年度の新たな取組みで、人権男女共同参画課の協力のもと、保育付きブックタイムという事業を行いました。生涯学習センターの2階の保育室をお借りし、人権男女共同参画課から依頼された保育士が来てお子さんを2時間ほどお預かりする。その間、保護者の方にゆっくりと本を読んでもらうものです。
- 図書館 今年度2回開催したのですが、人気で、申し込みの初日にすぐ予約がいっぱいになりました。
- 利用者 予約を取るんですか。
- 図書館 人数に限りがあること、赤ちゃんの月齢に合わせて保育士の人数の調整も行ってきめ細やかにご対応いただくため、あらかじめお申し込みいただきました。
- 利用者 この建物は貫井と同じ年度に建築されたんですね。改築期ですが（計画は）どうなったのですか。
- 図書館 コロナ前は、貫井より先に練馬が大規模改修の予定でした。コロナが起こったところで改めて様々な検討が行われ、まず貫井ということになりました。建物についての検討が先延ばしになってしまっているのですが、その代わりというわけではないのですけれども、防水などの工事をしていますいずれかの時期には大規模改修になるかと思うのですが、少なくとも、貫井と同時に改修にはならないかと思っています。
- 利用者 新しい図書館は若い人の個人席を作っていますよね。個人席を図書館に求める需要があるからなのでしょう。練馬は、書架のスペースが足りないぐらいなので、そういう需要に応えられないのかなと思っています。できれば、若い人を呼び込むには、需要と供給があう必要があるかと思うけど、解決策は難しいですね。
- 図書館 そうですね。大規模改修の検討をしていたときにも、席をどうやって増やせるか考えていました。今後、実際に大規模改修となれば、もう一度改めて検討することになるかと思います。
- 図書館 ご意見をいただきましてありがとうございます。今後の図書館の運営に生かしたいと思います。アンケートにもご協力をいただけますようよろしくお願いいたします。
- 本日は、本当に貴重なお時間をいただきまして、ありがとうございます。